



あなたと博物館

HIRATSUKA CITY MUSEUM

2020.1月号



平塚市三嶋神社拜殿の彫り物

三嶋神社は平塚空襲によって社殿を焼失した。昭和25年に再建された社殿には、高砂に鶴と亀、松などの長寿を象徴するおめでたい彫り物が施されている

謹んで初春のお慶びを申し上げます。また、旧年中のご恩顧に改めて感謝申し上げます。

さて、博物館職員、とりわけ学芸員という職業にとって、館に所蔵する資料は命の次に大切なものです。昨年は、改元の祝賀ムードの一方で台風による大きな風水害がありました。県内でも、私たちと同じく地域の資料を未来に伝える博物館において、甚大な被害が生じました。収蔵庫を喪失した胸中を思うと痛苦に堪えません。一日も早い再興を祈念いたします。

当館の敷地は、かつて海軍火薬廠の一部でした。それは平塚の近代の歴史を決定づける施設であり、街の発展も、破壊と喪失もそれとの関係の中で展開しました。空襲による市街地の焼失は、街の過去を語る貴重な資料の喪失でもあったはずですが。私たちは収集活動の傍ら、もしも空襲の歴史がなかったらと思わない日はありません。それは、これから10年経っても、100年経ってもきっと変わらないのです。

思えば、どんな博物館も多かれ少なかれ、喪失と日々向き合い、抗おうとしているのでしょう。世界中の人が忘れても、各地の博物館は、忘れることがないのです。

いいえ、もしかすると博物館という存在に記憶を任せられる安心から、街は、忘れるということができるのかもしれない。

本年も重責を胸に、街の記憶、大地の記憶を愛し、皆様にお伝えしてまいります。変わらぬご支援をお願い申し上げます。

令和2年(2020年)春
館長 澤村泰彦

寄贈品
コーナー
展示

平塚周辺の地形と災害

1月4日(土)
～2月5日(水)

昨年は、巨大台風の来襲により、日本各地で大きな被害がありました。このような自然災害に備えるためには、自身が住む土地の地形やその成り立ちについての正確な知識を知っておくことが重要です。

本展示では平塚周辺の地形について、その特性や成り立ち、そして自然災害との関わりなどを紹介します。

→平塚のまちの中心部は、平坦な平野にあります。その中のわずかな地形の起伏こそが、災害時の明暗を分ける要素になるかもしれません。



相模川流域ジオツアー入門

「相模川流域ジオツアー入門」は、相模川流域を中心とした地域の地形や地質、そこに根付いた人々の文化や歴史について、直接その目で観察することで学ぼうという企画です。今年度の第3回は、金目川水系の河川や、断層がつくった地形を観察します。



↑大磯丘陵の東端にあたる公所周辺の地形のでき方には、断層が関係しています(根坂間)。

第3回「金目川の氾濫原と公所断層帯」

場所：平塚市纏～広川

日時：1月25日(土) 午後1時30分～午後4時

申込：往復はがき、またはeメール(muse-event@city.hiratsuka.kanagawa.jp)に、行事名・住所・氏名・電話番号を記入してお申し込みください。

締切：1月13日(月) (消印有効、メールの場合は同日中)

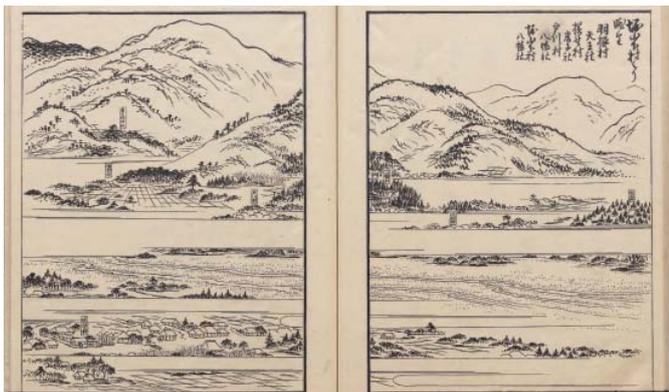
定員：20名(応募多数の場合抽選)

備考：雨天時中止

平塚郷土史入門講座

江戸時代を中心とした平塚の郷土史の基礎的な知識を学ぶことで、地域を見つめ直すきっかけとしていただくための初心者向けの講座です。

昨年は台風などの災害が目立った年でした。平塚周辺の災害や環境の歴史に焦点をあてたお話をします。



『相中留恩記略』にみえる丹沢の山々(国立公文書館蔵)

第1回「近世金目川の治水と利水」

内容：地域の農業に欠かせない金目川と人の歴史

日時：1月26日(日) 午前10時30分～12時

会場：博物館講堂

第2回「富士噴火と地震」

内容：近世以降の富士噴火と地震被害の様相

日時：2月23日(日) 午前10時30分～12時

会場：博物館講堂

第3回「近世丹沢の環境と景観」

内容：丹沢山地の植生・環境と人の暮らし

日時：3月22日(日) 午前10時30分～12時

会場：博物館講堂

講師：早田旅人(当館学芸員)

参加：各回自由(定員50名、先着順、開場は15分前)

☆≡ 2020年の天文現象

2020年も天文現象が盛りだくさん! 2年2カ月ぶりの火星接近に加え、部分日食や惑星たちのランデブー、そして毎年おなじみの流星群たちが控えています。年末にはリュウグウで見事サンプルを採取した「はやぶさ2」が帰ってきます。プラネタリウムのシミュレーション機能を使って、2020年の星空を先取りしましょう。

日時:1月11日(土)、25日(土)の午後2時

1月12日(日)、18日(土)、19日(日)、26日(日)の午前11時と午後2時

※ただし1月11日(土)11時の回と、25日(土)11時の回は、幼児投影となります。

観覧料:200円(18歳未満・65歳以上無料、65歳以上の方は年齢を確認できるものをご用意ください)

※観覧者全員が揃ってから観覧券をお求めのうえ、投影開始10分前までに3階にお越しください。

定員:70人

プラネタリウム特別投影



クラシック音楽を聴きながら、ゆったりと星空や映像をご覧ください。星や音楽のお話(解説)はちょっと少なめ…とにかくゆったりと星空を眺めたい方向けの投影です。癒しを求めるあなたにピッタリ!

1月18日の回は、「南ヨーロッパへの旅」と題し、スペイン、イタリア、南フランスにまつわる曲をお送りします。寒さが厳しい日が続きますが、少しは暖かさを感じられるかもしれません(笑)

<投影情報>

日時:1月18日(土) 午後4時~午後4時50分

観覧料:200円(18歳未満・65歳以上無料、65歳以上の方は年齢を確認できるものをご用意ください)

※観覧者全員が揃ってから観覧券をお求めのうえ、投影開始10分前までに3階にお越しください。

定員:70人

スターリーテラー in プラネタリウム

星カフェ SPICA のオーナーでもある“スターリーテラー”keisuke 氏によるプラネタリウム・ライブトークショー。

星空をおもしろい切り口で語る彼の、普段とは一味も二味も違うプラネタリウム投影をお楽しみください!

日時:2020年1月26日(日) 午後5時~6時

観覧料:200円(18歳未満・65歳以上無料、65歳以上の方は年齢を確認できるものをご用意ください)

定員:70人(応募多数時抽選)

申込:往復はがき、または電子メール(muse-event@city.hiratsuka.kanagawa.jp)に行事名・氏名・人数・住所・電話番号・希望日を記入して申し込み。1月14日(火)当日消印有効(メールの場合は同日中)。

keisuke(星のソムリエ/スターリーテラー)

「星空をエンターテインメントに」をコンセプトに、実際に星を見る天体観望会だけでなく、ライブハウス、イベント、自然学校から企業の宴会まで、あらゆるステージで「星のおもしろさ」を語るライブパフォーマンスをおこなっている。星を語る話芸を磨くためR-1ぐらんぶりに挑戦し2013年、2015年には予選2回戦まで進出。2011年に星を楽しむカフェバー「星カフェ SPICA」を、2016年には貸切プラネタリウム「ポラリスプラネタリウムボックス」をオープン。自由な星の楽しみ方を提案し続けている。

● Starryteller ●



1	水		年末年始休館		
2	木		年末年始休館		
3	金		年末年始休館		
4	土	◎	星空散歩	プラネ	☆
5	日	◎	特別展展示解説	特別展示室	☆
6	月		休館		
7	火				
8	水				
9	木		古代生活実験室	科学教室	
			石仏を調べる会	講堂	
			展示解説ボランティアの会	特別研究室	
10	金		古文書講読会	講堂	
			お囃子研究会	講堂	
11	土		地球科学野外ゼミ	科学教室	
		○	プラネタリウムの現在進行形	プラネ	☆
12	日		平塚の古代を学ぶ会	科学教室	☆
			天体観察会 天文学分科会	特別研究室	
13	月				
14	火		休館		
15	水		裏打ちの会	科学教室	
			民俗探訪会	講堂	
16	木				
17	金		古文書講読会	講堂	
		◎	星を見る会	科学教室/屋上	
18	土		東国史跡踏査団	講堂(雨天)	
			地域史研究ゼミ	特別研究室	☆
			平塚の空襲と戦災を記録する会	特別研究室	
		◎	星空音楽館	プラネ	
19	日		生き物ズームプロジェクト	特別研究室	
			天体観察会 定例会	講堂	☆
		○	プラネタリウムの現在進行形	プラネ	
20	月		休館		
21	火				
22	水				
23	木		石仏を調べる会	講堂	
			展示解説ボランティアの会	特別研究室	
24	金		古文書講読会	講堂	
			聞き書きの会	特別研究室	
25	土	○	相模川流域ジオツアー	野外	
			お囃子研究会	講堂	☆
			天体観察会 流星分科会	特別研究室	
26	日	◎	郷土史入門講座	講堂	☆
		○	スターリーテラー in プラネタリウム	プラネ	
27	月		休館		
28	火		天体観察会 太陽分科会	特別研究室	
29	水				
30	木		古代生活実験室	科学教室	
31	金		月末休館日		

情報
高校生が調べた地域の歴史(1月11日まで)
平塚の地形と災害(2月5日まで)
賢治がみつめた石と星(1月13日まで)
2020年の天文現象(1月26日まで)

1	土	◎	東国史跡踏査団	講堂(雨天)	☆
		○	星空散歩	プラネ	
2	日		天体観察会 定例会	野外	☆
		○	プラネタリウムの現在進行形	プラネ	
3	月		休館		
4	火				
5	水				
6	木		展示解説ボランティアの会	特別研究室	
7	金		古文書講読会	講堂	
8	土		地球科学野外ゼミ	野外	☆
9	日		平塚の古代を学ぶ会	科学教室	☆
10	月		休館		
11	火				
12	水				
13	木		古代生活実験室	科学教室	
			石仏を調べる会	特別研究室	
14	金		古文書講読会	講堂	
			お囃子研究会	講堂	
15	土		地域史研究ゼミ	特別研究室	☆
			平塚の空襲と戦災を記録する会	特別研究室	
16	日	◎	天体観察会実演「太陽黒点を見よう」	屋上	☆
		◎	ワーキンググループ活動報告会	講堂	
			生き物ズームプロジェクト	科学教室	
17	月		休館		
18	火				
19	水		裏打ちの会	科学教室	
			民俗探訪会	講堂	
20	木		展示解説ボランティアの会	特別研究室	
21	金		古文書講読会	講堂	
			お囃子研究会	講堂	
22	土		天体観察会 天文学分科会	特別研究室	☆
			天体観察会 流星分科会	特別研究室	
23	日	◎	郷土史入門講座	講堂	☆
24	月				
25	火		休館		
26	水		天体観察会 太陽分科会	科学教室	
27	木		石仏を調べる会	講堂	
28	金		古文書講読会	講堂	
			聞き書きの会	特別研究室	
29	土	◎	星空散歩	プラネ	☆

情報
北金目柳川家文書展(3月1日まで)
江戸く昭和のおひなさま&豆びなコレクション(3月4日まで)
第20回博物館文化祭「ワーキンググループ活動展示・報告・実演」
ゆりかごから墓場まで☆星の一生をめぐる(4月5日まで)

1月の休館日：1日、2日、3日、6日、14日、20日、27日、31日

☆：プラネタリウム投影日 ◎：申込制行事 ○：参加自由 無印：年間会員制
プ：プラネタリウム一般投影 特：特別展 寄：寄贈品コーナー展示 情：情報コーナー展示

【1月のプラネタリウム】

- 定員：70名 観覧料：200円(18歳未満・65歳以上無料)
- 観覧者全員が揃ってから観覧券をお求めのうえ、投影開始10分前までに3階にお越しください。
- 全席自由席です。○投影開始後のご入場・途中退出はできません。
- 65歳以上の方は年齢を確認できるものをご用意ください。
- ☆プラネタリウム一般向け番組「賢治がみつめた星空」(所要50分)
投影日時：1月4日(土)、5日(日) 午前11時、午後2時
- ☆プラネタリウム一般向け番組「2020年の天文現象」(所要50分) 3頁参照
投影日時：1月11日(土)、25日(土) 午後2時
1月12日(日)、18日(土)、19日(日)、26日(日)
午前11時、午後2時
- ☆プラネタリウム幼児向け投影「すいせいゴエモンの冒険」(所要50分)
投影日時：1月11日(土)、25日(土) 午前11時
- ☆プラネタリウム特別投影「銀河鉄道の夜」(所要45分)
投影日時：1月5日(日)、12日(日) 午後3時30分
- ☆プラネタリウム特別投影「星空散歩」(所要50分)
投影日時：1月4日(土)、2月1日(土) 午後3時30分
- ☆プラネタリウム特別投影「星空音楽館」(所要50分) 3頁参照
投影日時：1月18日(土) 午後4時
- ☆スターリーテラー in プラネタリウム(所要60分、申込制) 3頁参照
投影日時：1月26日(日) 午後5時
観覧料：200円
備考：1月14日(火)までにお申し込み下さい。

【1月の行事】

- ◎特別展展示解説
日時：1月5日(日) 午後1時～午後1時45分 会場：特別展示室
参加：自由・無料 定員：なし
- ◎星を見る会「冬の天体を楽しもう」
内容：句を迎えた冬の星々を望遠鏡で観察します。
日時：1月17日(金) 午後7時～午後8時30分 会場：科学教室・屋上
参加：自由・無料 定員：なし

【1月の展示】

- 特別展(会場：平塚市博物館1階特別展示室)
「賢治がみつめた石と星」1月13日(月祝)まで 1頁参照
- 寄贈品コーナー展示(会場：平塚市博物館1階寄贈品コーナー)
「平塚の地形と災害」1月4日(火)～2月5日(水)まで 2頁参照
- 情報コーナー展示(会場：平塚市博物館2階情報コーナー)
「高校生が一から調べた秦野の歴史～大藤氏・矢倉沢往還～」1月11日(土)まで
「北金目柳川家文書展」1月28日(火)～3月1日(日)まで

